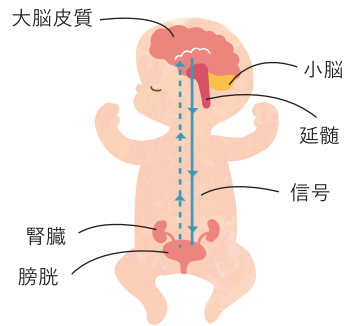


夜間の排泄について



夜間のメカニズム

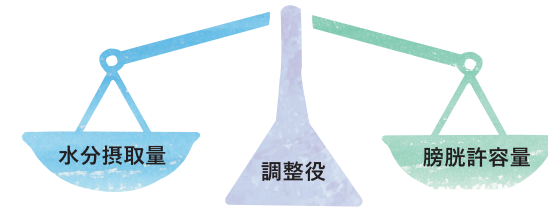


人間の身体は、本当にうまく作られています。まず「大脳」と「腎臓」「膀胱」の関係性から排泄をする前に身体は腎臓でおしっこを作り膀胱に溜めていきます。たまった尿は、尿意として大脳に信号を送り、返信された信号を受け取った膀胱神経が排尿します。これは夜間も日中も同じです。

では夜間において何が変わってくるかというと、
○意識があるかないか
○腎臓が夜間スタイルに切り替わったかどうか（メカニズム）

この2つの違いです。

身体の中では何が?!



摂取量と許容量のバランスが良いと朝まで保たれます。ですが、許容量が少なく、摂取量が多ければ、いやおうなしに排泄されます。成長が伴ってくると、我慢ができるようになります。無意識、熟睡、低月齢だとバランスをとるのが難しいので、そのまま排泄されるわけです。もちろん、排泄前や最中に不快を感じて起きる子もいます。

3つのタイプ

排泄の自立において、『夜間の排泄』もかなりの方が悩みを抱えています。悩みの内容は様々ですが、解決に向けてやるべきことは、タイプによって全く変わってきます。まず、どのタイプなのか知ることが先決。3つのタイプがあります。

